

## 第1期決算および中期経営計画を発表

## IT Evolution 2011

ITホールディングス東証第一部上場（以下ITHD）の第1期平成21年3月期（連結決算は売上高338.3億200万円（当初予想340.0億円）、営業利益23.7億8700万円（同22.0億円）、経常利益23.6億400万円（同22.0億円）、当期純利益9.4億600万円（同11.0億円）となった。配当は1株あたり普通配当27円に加え、記念配当5円の合計32円とする。

ITHDは、昨年4月インテックホールディングスとTISの経営統合による共同持株会社として設立され、今月初の決算を発表した。この期間は昨年秋季に米国におけるサブプライムローン問題に端を発した国際金融市場の混乱や株式・為替相場の変動に加え、輸出や設備投資の大幅な減少等により、企業収益が悪化し、深刻な景気後退局面となった。情報・通信業界においても、前記のような景気減速の影響を受けて、金融業、製造業を中心に情報化投資が抑制され、近年にない厳しい状況となった。

このような事業環境の中で、ITHDは主要顧客のIT投資ニーズを的確に捉えたグループ会社が業績を牽引したことなどにより、グループ全体として順調に推移した。

(下段は対前期比増減率)

	第1期実績 (平成21年3月期)	第2期予想 (平成22年3月期)
売上高(百万円)	338,302	328,000 (▲3.0%)
営業利益(百万円)	23,787	24,500 (3.0%)
経常利益(百万円)	23,604	24,000 (1.7%)
当期純利益(百万円)	9,406	11,000 (16.9%)
1株あたり配当金(円)	32 (普通27円+記念5円)	32 (上期12円+期末20円)

第2期（平成22年3月期）は、引き続き厳しい景気動向や企業収益の減少を受けたIT投資抑制の動きが続くと見込んでおり、減収増益を予想している。

また、ITHDは平成21年4月開始の「第1次中期経営計画」(IT Evolution 2011)を発表した。3年後の売上高4000億円、営業利益350億円を目指し、事業規模の拡大策グループ経営の効率化、社員のモチベーション向上を目指した人事政策、企業文化の醸成などを進める。



## グループ会社のバックオフィス業務のシェアード化を推進 新会社「ITサービスフォース」を設立

ITホールディングス(以下ITHD)は、グループ各社のバックオフィス業務のシェアードサービスを提供する子会社「ITサービスフォース株式会社(以下ITSF)」を2009年4月1日に設立した。

ITHDは、2008年4月の設立より、経営統合による効果としてグループ事業シナジーの推進、情報システムの統合化、そして本部系などのバックオフィス業務のシェアード化を掲げている。ITSFは、グループ全体最適の観点から業務の効率化とコスト削減、業務品質の向上を実現する原動力として設立した。さまざまな業務のシェアード化により、ITHD

グループ全体で約10億円のコスト削減を目指している。また、グループ業務プロセスの標準化を推進し、グループ全体の内部統制の徹底も図る。

新会社は、グループ各社の経理、労務、受注管理、購買などの事務サービスから開始し、今後、設備管理などの総務業務や研修運営など提供サービスの範囲を拡大する。

社名 ITサービスフォース株式会社(IT Service Force Inc.)  
 代表者 代表取締役社長 中川 潔  
 本社 東京都港区海岸一丁目16番1号  
 資本金 800万円  
 株主 ITホールディングス株式会社 100%  
 従業員数 85名(設立時) 派遣社員含む